

ディーセントワークデー推進ニュース

No.3

Decent Work 働きがいのある人間らしい仕事

2010年10月29日

全労連

(全国労働組合総連合)

Tel 03-5842-5611

Fax 03-5842-5620

均等待遇の実現、「非正規雇用」をなくそう！

第2回ディーセントワークデー各地の取り組み(続報)

チラシのぼりを見た若いカップルも駆け寄ってきて 愛知県労連

10月16日、金山駅南口で第2回ディーセントワークデー宣伝を実施。今回のテーマは非正規労働者の処遇改善ということで愛労連パート・臨時労組連絡会が責任団体として参加をよびかけ、12人が参加。それぞれリレートークし、ティッシュとチラシを約300枚配布した。

関連する署名にも取り組み、1時間で「自治体非正規署名」26筆、「よりよい保育署名」2筆が集まった。



チラシのぼりを見た若いカップルが「これは絶対署名しないと」と言いながら駆け寄ってくれたり、「がんばって」と声をかけて通り過ぎる人。年配の女性からは100円のカンパをもらうなど、反応はよかった。

トヨタの高岡工場で働く管理職の男性は、ピラを配る組合員に「生産が落ちている」ことを切々と訴え、今後、非正規・期間工などで働く人たちの首切りが行われる可能性を話しながら、最後にはとりくみに賛同してくれた。

「人間らしく働こうデー」と早朝宣伝 長崎県労連

「人間らしく働こうデー」(ディーセントワークデー)を10月15日、長崎駅前前で早朝宣伝を実施。各単産から15人が参加し7時20分から8時15分まで、750枚のチラシを配布した。「有期雇用を規制し、雇用期間の定めのない安定した雇用が当たり前の社会をめざしています」と元気良く訴えた。

中小企業支援策の必要性で最賃審経営側委員とも一致 秋田県労連

ディーセントワークデーの取り組みとして、10月15日、早朝宣伝(7人参加、ピラ300枚配布)に取り組んだほか、県内5経済・商工団体に、「新規学卒者の雇用促進」と「最賃引き上げの周知と中小零細事業所への経営支援強化を国に働きかけること」「働くルールの遵守の徹底」などを求める要請書を提出。

県経営者協会との懇談では、専務理事(最賃審委員でもあり、今年度最賃引き上げに反対)が「最賃を引き上げていく上で国による中小企業支援がどうしても必要」「その点ではお互いに頑張っていこう」と発言するなど、たいへん友好的な懇談となった。

通り過ぎてから戻ってくる人、握手をしていく青年も 千葉労連 10/15

千葉駅さごう前で9人で実施。ティッシュがないわりには比較的受け取りがよく、250枚を配布。通り過ぎてから戻ってくる人、握手をしていく青年もいて、行動参加者も驚いていた。全労連作成ののぼりと、独自に作成した横断幕もあり目立ったこと、夕方ではあったが場所が明るかったのもよかった。

知事選と結合して県庁前で宣伝行動 沖縄県労連

10月22日夕方17:00~18:00まで県庁前交差点で、ディーセントワークデー宣伝行動にとりくみ、13人が参加。

全労連作成の版下を使いピラ500枚作成。知事候補イ八さんのピラとセットにして、配布。ディーセントワークの訴えと知事選の訴えをあわせて行った。反応はよく、ピラは450枚配布できた。



毎月第3金曜日は、ディーセントワークデー
第3回ディーセントワークデーは、11月19日(金)
「最賃引き上げ、賃金底上げで内需拡大を！」です。

お詫び

推進ニュースNo.2で、婦団連の伍淑子副会長のお名前を間違えてしまいました。申し訳ありませんでした。